



平成 21 年度活動報告書



人と社会と自然を豊かにつなぐ...

目次

P1~8	事業報告
P9~19	会計報告
P20~22	事業計画
P23	予算
P24	3カ年計画
P25~26	役員リスト
P27	変遷・組織図

認定特定非営利活動法人 地球市民の会

☎840-0822 佐賀県佐賀市高木町 3-10

新しい事業も増え、内容はより充実してきていますが、軌道に乗るところまでにはもうひとがんばりです。

◆ 期待の中山間地元気再生事業、始まりました。

国際問題の解決に協力することは大切ですが、日本の問題も見過ごせない時代になってきた、というのは国際協力に関わる日本人の共通の意識となってきました。地域密着型の国際協力団体としての存在意義は、海外で育んだ私たちの組織としての経験を自分たちの足元で活用し、国際貢献のみならず、地域貢献を行うことだと考えていました。佐賀市の委託事業で佐賀市の中山間地の村落開発事業に関わらせていただけていることはありがたい出来事でした。

◆ 新しい事業も行いました

国内事業で新しいチャレンジングな試みを実施しました。佐賀市との協働事業では佐賀の伝統的喜劇「佐賀にわか」を用いた市民と行政の協働意識の普及事業を行いました。ミャンマー写真展は開催後スライドショーとしてインターネットで公開しました。寸劇・佐賀空襲は、多くの涙と平和への地球市民の会の想いを伝えました。地域づくり団体全国研究集会佐賀大会では分科会を担当し、「志」をわかち合いました。(株)M I Z との新しい協働事業で学校への講師派遣を行い、4つの学校を訪れました。地域密着度を深める活動となりました。

◆ 継続中の事業も評価が高まっています。また、リニューアルも図りました。

ミャンマー事業の賛同者の輪が広がっています。インレー湖の富栄養化による水草の問題解決研究事業では佐賀大学と、小規模銀行による貧困農家の生活改善事業はJ Aグループ佐賀と実施しています。個人さんからの寄付も増えていて、建設中も含め新しく学校建設が2校されました。タイの奨学金事業は自立に向けていよいよ新しい段階に向けて準備が始まりました。

◆ 安定経営のための自主事業収入などの新しい事業が遅れています！

前年度から取り組んでいる「チャリティ・ショップ」「チャリティ・ネット・ショッピングモール」「ふるさと応援会員」事業が遅れています。しかし、少しずつ形になってきており、22年度の夏には動き出すと思われます。

◆ 会員、寄付者の推移は微減。喜んでいただける会であるのか？

古賀前会長逝去の後の会員、寄付者の減少は少なくなってきましたが、21年度は微減。地球市民の会が皆さんに喜んでいただける会であるのかを自問し続けています。

当会設立者・故古賀武夫氏への依存からの脱却がテーマの年で2009年2月に宣言した「TERRA アピール2009」という新しい領域へ進む元年でした。そのための平成21年度の方針である「地域の「みんなのために」文化を創造していく」「循環型共生社会をわかりやすく伝えられる活動を行う」ことは、具体的な動きとして会員にお見せできませんでした。もう少し期間をいただいて徐々に達成すべきもので、単年度の方針としては大きすぎたようです。長い目で実現していくためにももう少し具体的なテーマを作っていくべきだと反省し、次年度に活かしてまいります。

以下、21年度の最重点課題と重点課題を振り返ります。

最重点事業

3つの最重点事業はそれぞれ進んでおります。2、3は次のステップに進んでいます

1、(新規)「農」プロジェクトのための調査研究

現実的な可能性を考えるために理事で研修を実施し、熊本のれんげ農苑やおばあちゃん家プロジェクトなどをいくつか視察いたしました。具体的なプラン作りまでには至っていません。ミャンマーのタンボジ研修センターのような「農」を通した青年研修という夢も出てきましたが、実現にはいくつも越えなければならぬ壁がありそうです。

2、ミャンマープロジェクト第三フェーズの計画策定

ミャンマー9カ年計画の最後の3年である第三フェーズ(第三ステップ)の計画が固まりました。現行プロジェクトの経済的自立を目指したコミュニティビジネスを循環型で実施するステップアップ型のプロジェクトです。22年度での事業開始を目指しています。

3、認定NPO法人資格取得

平成19年12月、古賀前会長の亡くなる3ヶ月前の絶筆となる原稿で最後の悲願として、認定NPOになるという希望を記述されていました。そのための申請書類が提出されました。22年度の夏までには結果がわかると思います。(7月1日に認定となりました。古賀前会長の悲願が達成されました)

重点事業

重点事業でありながら、進捗の悪いものもあり、悩ましいところです。反省です。

1、第20回小さな地球計画(PSE)2009—アジア4ヶ国高校生交流事業—

第20回記念の21年度のPSEはなんと、タイ、スリランカ、韓国、日本の4カ国の高校生による交流事業でした。環境をテーマに語り合った高校生のうち、タイの高校生は帰国後自分たちの学校で環境についてのワークショップをして学びあいました。

2、(新規)TPA農園設置に向けてのパイロット事業

パイロット事業まで、プランが固まっていません。もう少しじっくりと理事会で検討していきます。

3、タイ奨学金事業の改善に向けての調査

奨学金基金を新たに設定し、格差が大きくなったタイ東北部の貧困家庭へのより篤い教育支援を目的としたプログラムに変更してまいります。次年度から徐々に奨学金のスタイルを変更していきます。

4、テラリング全国大会(地球市民運動連絡会議)の開催

東京、岐阜、北九州、福岡、熊本、佐賀のメンバーが幣立神宮に集い、情報交換を行いました。

5、(新規)チャリティ・ネット・ショッピングモール事業

プログラムの構築に時間がかかってしまい、立案後の実現までに時間がかかってしまっています。早い立ち上げを目指すべく、社会貢献活動として支援いただいている有限会社プライムさんと協力体制を高めたいと思っています。

平成21年度事業報告概要

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人 地球市民の会

事業内容	実施時期	実施内容
ミャンマー事業		
タンボジ研修センター運営	通期	貧困農村部の高校生寄宿事業、循環型農業普及事業の拠点運営
タンボジコミュニティセンター建設事業	4～2月	地域住民への循環型農業普及と農作物の集積のための地域交流センターの建設運営事業
ナウンカ研修センター運営	通期	循環型農業普及事業の拠点運営
循環型農業研修開催	通期	循環型農業普及セミナー実施
農業支援事業費	通期	小規模農業支援事業(JAグループ佐賀 協働事業)
チャウタロン奨学金事業	通期	高校生への奨学金事業(地球市民の会福岡 協働事業)
学校建設事業	随時	学校校舎建設 (トンポー準中学校:深江布津ライオンズクラブ、ガナインシュエ小学校:坂井プロジェクト)
タンボジ村モデル森林作り事業	4月～	タンボジ村にアグロフォレストリーの思想で森林を育てながらコーヒー園を造る事業(イオン環境財団)
生活用薪炭林植林事業	4月～	ティハムスエ村の僧院所有地に薪炭用の植林実施(みどりの募金)
インレー湖環境改善事業	11月～	富栄養化した湖の異常繁茂する水草の有効利用(三井物産)
スタディツアー	5回	自主実施と、大学やJAの研修の現地受入
奨学金関連事業		
奨学金会費	通期	タイ・スリランカの中学・高校生への奨学金事業
タイ中高生生活実態調査	11月	タイ東北部の貧困農村の学生の生活状況を調査した。
国内事業		
中山間地元気再生事業	通期	過疎中山間地域の村落開発事業(佐賀市委託事業)
農事業	通期	事業立案のための調査
行政協働事業	通期	佐賀市:協働おもしろ大百科 県:ミャンマー写真展とイベント・未来につなぐ平和な世界
講師派遣事業	通期	学校・各種団体への講師派遣、(株)MIZ協働事業:RTMIほっとかれんもんプロジェクト
第20回小さな地球計画	8月	タイ、スリランカ、韓国、日本の4カ国の高校生による環境をテーマとした交流事業

2009年度のミャンマー事業は、新たに支援して下さる協力者も増えるなど、皆様のあたたかいご支援に支えられた1年となりました。

第2フェーズ(※)の最終年となりましたが、循環型農業普及だけではなく、森林保全やインレー湖の環境保全といった環境問題への取り組みに広げた活動を行うことができました。

また、現地の住民の意識が自立へと向かっていることが活動を行う上で何うことができ、今後迎える第3フェーズへの意欲をみることで大きな成果であったように思います。初の佐賀大学のフィールドトリップを受け入れたことで、地域の大学生の関心を深めることもでき、参加者の中から2名が当会インターンとして活躍しております。ミャンマー事業がミャンマー、日本両国での地球市民運動につながっていることを実感しております。

活動状況

<農畜産業振興支援>

●JAグループ佐賀5ヵ年支援計画●

～小規模銀行事業～

5年にわたり行ってきた小規模銀行事業の支援もいよいよ昨年度で終了しました。水牛銀行、養豚銀行、ニンク銀行の3行ともおおむね順調で、今後は自立への第一歩を踏み出します。(協働：JAグループ佐賀)

NEW

●コミュニティセンター開設●

タンボジのコミュニティセンターでは、地域住民が集い農業研修を行える設備を充実させました。堆肥づくりに欠かせないぬかをとるための精米機など導入しており、その利用料は自己運営費になるなど、自己運営できる体制づくりも同時に行っています。

(助成：国際ボランティア貯金 1,030万円)

●ナウンカセンター循環型農業研修●

実施回数：6回 参加人数 108名。今までに研修に参加した累計人数は 875名にのぼります。

<人材育成・教育支援>

●タンボジ青少年育成センター●

5月に新入生9名を受け入れ、計14名の高校生が農業研修を行いながら元気に学校に通うことができます。

昨年度で、2年間ご協力いただいた特定非営利活動法人海外教育推進協力機構様の支援が終了しました。今年度は支援して下さるサポーターを新たに募集しています。



タンボジ寮生

●ガニンシェー小学校建設●

個人支援者による学校建設が開始されました。老朽化し危険だった校舎を新しく建て直しています。村の自助努力もあり、物価高騰にも負けず「なんとか子どもに教育の機会を」と村の教育委員会はがんばっています。建設後は、共同農園をつくり、校舎の修繕や奨学金に充てる基金を創設する予定です。

(支援：坂井邦夫様)

NEW

●トンボー準中学校建設●

ライオンズクラブ様の寄付によって、トンボー小学校は、さらに教育環境の整った新トンボー準中学校へ改築を行うことができました。新しい学校は設備もよく、パソコンも設置していただきました。子どもたちは思う存分勉強し、遊んでいます。

(支援：深江布津・島原ライオンズクラブ様)

NEW

<地域開発支援>

●コーヒー森づくり●

タンボジ村でのアグロフォレストリーによるコーヒー森づくり。経済性を併せ持った森林づくりをすることで住民の生活向上と森林保全を両立させます。まだ収穫できる木に育っていないため、今後も地道に取り組んでいきます。
(助成：イオン環境財団 130 万円)

●インレー湖循環化事業●

佐賀大学との共同研究事業。2カ年のうち、あと半年となった本事業では、環境汚染の産物である大量発生した藻類を利用した堆肥、飼料づくりも順調にすすみ、これからトマトにかわる農産物の栽培にチャレンジします。また、今年度は本事業への地球環境基金の助成(560万円)も決まり、引き続き発展事業へとステップアップします。
(助成：三井物産環境基金 853 万円)

●ティハムスエ緑化事業●

ティハムスエ村において、生活に必要な薪炭用の植林を実施しました。同時に、地域住民に対し、環境教育を行い、持続可能な森づくりを目指しています。
(助成：みどりの募金 160 万円)

<交流事業>

●スタディーツアー実施・受け入れ●

～TPA、鹿児島大学、佐賀大学、TPAぎふ、豊友会～
今年初めて佐賀大学の「アジアフィールドトリップ」という大学生の研修を受け入れ、11人がミャンマーの事業地を訪問しNGO活動を体験したり、タンボジセンターで高校生とともに生活しました。TPAのツアーは計3回。ミャンマーを訪れた方はこぞってミャンマーファンになって帰ってきます。今年新たに5人のミャンマーファンが誕生しました。



佐賀大学生とタンボジ寮生

●大和なでしこの辺境生活奮闘報告●

4月にミャンマー事業のプロジェクトマネージャーの柴田が日本に一時帰国しました。佐賀で、ミャンマー事業の紹介や柴田自身の行き方など紹介し、NGOの活動やミャンマーを身近に感じていただけるいいきっかけになりました。

2010年度のミャンマー事業・・・

今年ミャンマーは総選挙を控え、落ち着かない様子です。その影響もあり、フェーズ3の開始年になっていますが、ミャンマー政府とのMOAが更新できていないため、予定通りには進んでいない状況です。しかし、これまでのミャンマーでの活動が本当に村の人のためになるよう結実させたいと思っています。地域住民とともに力を合わせて、今できることに地道に着実に取り組んでいきます。

今年には学校建設などの教育支援や、道路建設といったハード面での地域開発を行いつつ、メインである循環型農業の普及、さらには農産物の流通・販売に取り組みます。

また、TPAの活動で大きな存在となってきたミャンマー事業をもっと「顔の見える事業」にするため、ツアーや情報発信の機会の充実を図り、皆様と感動を共有できる事業運営を行ってまいります。

※ 地球市民の会におけるミャンマー事業は2003年に開始。約3カ年ずつを一区切りとして地域開発に取り組んできました。今年よりいよいよ第3フェーズに入り、今期間での現地の自立を目指します。

第1フェーズ 2005～2007年、第2フェーズ 2008～2009年、第3フェーズ 2010～2012年

■□タイ事業■□

多くの方々からのご支援により、タイ農村部の子ども達へ、教育支援を通して『学ぶ喜び』『思いやりの心』を届けることができました。また、自立発展に向けた支援への一步を踏み出すことができました。

●タイ留学生との交流●

佐賀在住のタイ人留学生との交流の機会を頂きました。留学生は、故郷で行われている当会の活動に、強い関心を持って協力をしてくれました。二国間で交流の輪が広がりました。

●タイ地球市民奨学金支給●

タイ王国東北部イサーン地方で、315名の子ども達に、地球市民奨学金を支給できました。『学びたい』という子ども達の想いに、里親さんからの奨学金は経済的、精神的支えとなりました。2009年で、奨学生受給者は3,175名となりました。

●タイ現地調査(2009年11月)●

奨学金の効果や子ども達の置かれる状況を認識し直す、とても有意義な調査となりました。

- ① 経済発展からいまだに取り残されているイサーン地方では、より充実した支援が必要であること
- ② 『今度は、自分達が子ども達のために』という元奨学生を力に、地域で子ども達を支えるためのプロジェクトを行うこと

この2点を現地の人々と共通認識にし、お互いの力を出し合おうと確かめ合えたことは、自立発展の道への大きな前進となりました。

本年は、2009年度の活動を受け、子ども達を持続的に支えていくことができる仕組み作りを取組んで参ります。そのためにも、より多くの方々に里親通信や交流会、現地訪問ツアーを通して活動を知って頂き、共感して頂けるような大きな活動の波を起こしていこうと想っています。



●子ども達によるプロジェクト支援●

地球市民奨学金と並行して、小規模プロジェクト支援を開始します。支援を必要としている子ども達が、様々な技術を学びながら、プロジェクトの収益が教育資金となります。教育基金へのご寄付、里親会員さんとして頂き、子ども達によりきめ細やかな支援に取り組んで参ります。

現地の先生達と力を合わせて、頑張ります!!



●チャリティーショップ開店●

佐賀の地元企業にご協力頂き、一般の皆さんからご寄付頂いた婦人服、子ども服を販売し、その収益でタイの子ども達の教育環境改善を目指して参ります。気軽に参加できる国際協力の形として、多くの方々に参加していただける機会を作ります。

□■スリランカ事業■□

本年も、スリランカ南部ゴール市のサンガミッタ女子校の生徒5名へシショダヤ奨学金の支給ができました。

2009年で、奨学金受給者は80名となりました。また、『後輩達の育成』『日本とのより深い友好関係』を目指した『シショダヤ卒業生の会』を設立。これまでの活動成果が伺える嬉しい年となりました。

2010年度は、引き続き奨学金支給を行って参りますが、より交流を深めるために、現地を訪問するツアーを計画中です。また、小規模発電所建設による平和構築プロジェクト実施に向けて調査を始めたいと考えています。

□■国際交流事業■□

●第20回小さな地球計画(2009年8月)●

タイ・スリランカ(奨学金受給の高校生)・韓国より5名ずつ高校生を招聘しました。文化交流、キャンプ、地球会議などの活動を通して、楽しく学び合いができました。15日間共に過ごした子ども達は、文化や価値観の違いを認め合うことの大切さを学び、地球の一員として心と心の触れ合いをしました。

幸せあふれる世界をつくっていきましょう!!



国内の主な事業に関する活動報告

◆ 2009年度は3つの参加型イベントを実施しました。溝上薬局との協働事業も始まっています！

地域密着型の NPO として、地域に根ざした活動を積極的に行っています。今年は行政や他の NPO 団体、企業と協働しながら、3つの参加型イベントに挑戦しました。(株)ミズ(溝上薬局)との協働事業も始まりました。開発教育や広報活動の一環として、学校や各種イベントでの講演会も行っています。

◆ 第27回地域づくり団体全国大会佐賀大会

『志士よ集え、ここから世界の未来が開く』

～日本赤十字社は佐賀からはじまった～

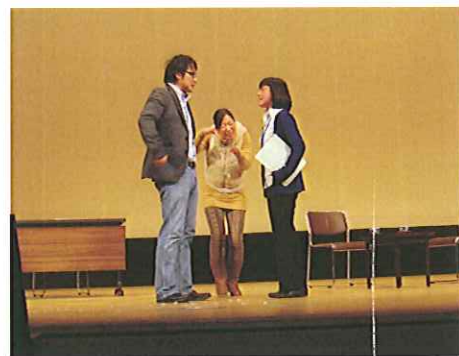


2月5日6日、地域づくり団体全国大会が佐賀で開催され、地球市民の会は分科会を担当しました。佐野常民記念館見学、佐賀城下ウォークラリー、懇親会など盛りだくさんのプログラムを通して、全国から集まった16名の地域づくり実践者たちと熱い想いを交換しました。

◆ 佐賀市ぴかぴか☆協働まちみがきプロジェクト

「協働」おもしろ大百科

知っているようで知らない「協働」。その協働について楽しく知っていただけるよう、佐賀市役所市民活動推進課、佐賀の演劇人と「協働」しながら、にわか風寸劇を用いたプログラムを作成、上演しました。全4回、各回20～110人にご参加いただき、大きな反響がありました。



全て佐賀弁でのプログラムでした！

◆ 平成21年度焔博記念地域活性化事業 「未来へつなぐ平和な世界」

3月27日、佐賀県より助成を受け、映像ショー「ミャンマーへの旅」、寸劇「佐賀空襲」を上演しました。同時期に開催された「ミャンマー写真展」とあわせて、本当の豊かさや戦争の悲劇を次世代に伝えていこうという気持ちを込めた、感動的なイベントとなりました。これらのプログラムは、開発教育や平和教育の教材として、学校などで上演していく予定です。



◆ RTM ほっとかれんもんプロジェクト 講師派遣、タイ奨学生支援、ミャンマー学校建設募金

(株)ミズとの協働プロジェクトです。当会スタッフと(株)ミズの薬剤師が講師となり、計4校に国際理解や健康に関する授業を行いました。タイ奨学生支援では、(株)ミズより高校生5名、中学生5名の支援をいただいております。溝上薬局の店頭には、ミャンマー学校建設のための募金箱が設置されています！

◆ 2010年度のイベントにも、是非お力をお貸しください！

2009年度は大変充実したイベントが出来ましたが、参加者が少ないという点が大きな課題です。2010年度も、協働おもしろ大百科、未来へつなぐ平和な世界、RTM ほっとかれんもんプロジェクトの継続が決まっております。事務局は広報に力を入れていきますので、今後も応援よろしくをお願いします！

●事業概要●

A. 佐賀市内の中山間地で少子高齢化、人口流出、それにより森林保全も困難になり、耕作放棄地など様々な問題が顕在化されてきています。当会は、佐賀に根付く団体として、海外で学んだ経験や知識を活用して、これらの問題に取り組んでいきます。

●事業の流れ●

①地域の方々と外の人との集落歩き

・地域の人に集落を案内してもらいます。
・外の人意見が、今後の地域づくりに活用できる資源の再発見に繋がります。

②計画・立案

・資源を活用しての継続性のある計画立案をします。

③お試し事業

・計画立案された、事業が地域にとって本当に重要なのか、継続性があるかのお試し事業を行います。

●主な活動●

A. この事業を実現するために、地域の方々の知恵・技術は必要不可欠です。そのために21年度は、地域の方々にインタビューや農林業等のお手伝いなどを通して、情報収集と関係構築を行って来ました。



担当：岩永

(間伐で森林保全)

B. <成果>

- ・集落の中には、地域の将来に対し、危機感を抱き、地域づくりを実施している人もいます。しかし、周りの住民の賛同を得ることができず単独で行っているケースが多々あります。
- ・農林業従事者は、人と触れ合う機会が少ないため、外の人とどのように接し、対応していいのかわからない。彼らの背景、考えを理解した上でのアプローチが必要です。また、地域のルール、歴史などを理解したうえで話しを進めなくてははいけません。まずは話しを聞くことからが必要と考えます。

●先進地視察及び研修●

A. 先進地視察

- ① NPO法人ソムニード (11月30日～12月2日)
- ② 福岡(八女)、熊本(人吉)、佐賀(小城)の民泊しているところへ



(地元の人と集落歩きをしました)

B. 研修

- ① ロジックモデルシート研修 (1月22・23日、2月12・13日)
- ② 長畑誠氏によるワークショップ IN 富士町 (3月13、14日)
- ③ コミュニティビジネス研修 (3月26日)

地元の人も参加しました!



(ワークショップで地域の行事について考えました)

●今後の方向性●

A. 選定した集落(富士町、三瀬の6集落)で
集落歩き→計画立案→お試し事業

☆ 選定したポイント

→ ①中心人物或いは地域づくり実践者がいる。

②意欲ある若者が多くいる。

●今年度も、地域に根付いた活動を行っていきます! 応援よろしくお祈りします!!

決算報告書

2009年4月1日～2010年3月31日

目次

◆財務分析と課題	-P10
◆平成 21 年度貸借対照表	-P11
◆5 期連続貸借対照表	-P12
◆平成 21 年度収支計算表	-P13
◆5 期連続収支計算表	-P14
◆財産目録	-P15
◆ミャンマードル会計 貸借対照表、収支計算書	-P16
◆ミャンマーチャット会計 貸借対照表、収支計算書	-P17
◆ミャンマードル・チャット会計財産目録	-P18
◆監査報告	-P19

特定非営利活動法人 地球市民の会
佐賀県佐賀市高木町 3-10

～会計内容の改善がなされつつあります～

地球市民の会は「認定 NPO 法人」に認定してもらうために、福岡国税局から内部調査に来ていただきました。その過程で、私たちが至らなかった点や改善したほうが良い点を指摘いただきました。それとともに、会計方法をよりシンプルにするように変更いたしました。

前々期からミャンマーに送金した資金の管理を始めました。ミャンマーへはアメリカドルで送金をしています。そのドルをミャンマーの通貨であるチャットに両替していますから、アメリカドル、ミャンマーチャットの2種類のそれぞれの会計を日本円の会計に反映するようにしました。私たちの活動資金は皆さまからのお預かり物という意識に立ち、どこにその資金が使われているかを明らかにしていくために、これからも説明責任を果たしていける会計を目指していきます。

～キャッシュフローが減少しています～

ミャンマーのタンボジ研修センターの大口資金提供者からの寄付が停止されたことや、自主事業の開発が遅れたこと、会員の減少などにより、キャッシュフローが減少しています。この状況を改善していかなければ、直接協力事業は資金があるが、それを運営する管理費が捻出できないという状況が生まれ、事業そのものの継続が困難になります。次年度は管理費の圧縮と寄付や会費の収入増を実現しなければ、このトレンドは解消しませんので、正念場と思ってがんばっていきます。

～収入バランスは相変わらず委託金助成金に頼っています～

収入比率と推移は以下の通りです。

	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	理想
会費・寄付収入	38%	39%	32%	29%	29%	40%
委託金・助成金収入	50%	41%	61%	57%	65%	40%
自主事業収入	12%	20%	7%	14%	5%	20%
総収入金額	41,719,037	43,697,741	60,772,944	58,071,310	45,185,158	

ここ近年で最も委託金・助成金の比率が高まっています。これらの資金は毎年約束された安定された資金ではありませんので、安定経営のためにはこの比率が高まるのは危険だと一般的に言われています。しかし、地球市民の会の目標を達成するために戦略的に獲得する委託金・助成金は組織の維持するための依存的な資金とは性格が違うもので、私たちの努力で獲得した事業収入に等しいものだと評価し、一概に組織の安定の阻害要因だとは考えていません。ただ、その状態が好ましいというわけではなく、上表の理想の比率に向けて会費・寄付収入と自主事業収入の充実に向けて努力していかないのはここ数年の課題であり、これからも意識して取り組もうと考えています。

～認定 NPO 法人に対する税制改正を追い風にするために～

次年度はいよいよ地球市民の会も認定 NPO 法人を目指し、その後の税制改正を意識した組織の体制づくりを進めていかなければなりません。認定 NPO の制度の意義や社会的役割、これで生じる寄付のメリットなどを広く地域社会にお伝えし、日本に「寄付文化」を根づかせるための一助を地球市民の会も担い、さらに、地球市民の会の資金調達能力を高めていく必要があります。

特定非営利活動法人地球市民の会

貸借対照表

2010年3月31日現在

単位:円

資産の部			負債の部		
科目	前期残高	当期残高	科目	前期残高	当期残高
現金	130,623	158,867	未払金	943,394	118,000
普通預金	9,462,748	6,172,199	未払費用	1,247,960	
郵便貯金	2,713,342	2,582,736	前受金	0	
郵便振替	2,974,483	1,331,994	預り金	389,636	433,021
現金預金合計	15,281,196	10,245,796	仮受金	0	36,000
立替金	0		寄付預かり金		
短期貸付金	0		事業未実施助成金等	4,856,733	0
未収金	132,297	150,822			
仮払金	0	0			
ミャンマー未使途資金	5,028,275	3,392,814			
流動資産合計	20,441,768	13,789,432	流動負債合計	7,437,723	587,021
			ボーゲウ前受金	324,000	336,000
			クーキャオ中	768,000	646,800
			クーキャオ高	522,000	288,000
			スリランカシショダヤ	82,000	48,000
			基金	7,796,262	7,796,262
固定資産合計	0	0	固定負債合計	9,492,262	9,115,062
			負債合計	16,929,985	9,702,083
			正味財産	3,511,783	4,087,349
資産合計	20,441,768	13,789,432	負債・正味財産	20,441,768	13,789,432

5 期 連 続 貸 借 対 照 比 較 表

	平成18年3月31日	平成19年3月31日	平成20年3月31日	平成21年3月31日	平成22年3月31日
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
現金	144,675	74,870	119,890	130,623	158,867
普通預金	14,549,297	14,226,401	11,407,439	9,462,748	6,172,199
郵便貯金	183,007	3,068,651	1,969,931	2,713,342	2,582,736
郵便振替	2,666,431	4,334,493	485,539	2,974,483	1,331,994
定期預金					
現預金計	17,543,410	21,704,415	13,982,799	15,281,196	10,245,796
立 替 金			6,000	0	0
短期貸付金			50,000	0	0
仮払金	0	224,969	0	0	0
未収金			167,976	132,297	150,822
ミャンマー未使途資金			3,505,591	5,028,275	3,392,814
流動資産計	17,543,410	21,929,384	17,712,366	20,441,768	13,789,432
什器備品	0				0
電話加入権	0				0
固定資産合計	0	0	0	0	0
資産の部合計	17,543,410	21,929,384	17,712,366	20,441,768	13,789,432
未払金	0	552,000	206,097	943,394	118,000
未払費用				1,247,960	
前受金	215,500	90,000	11,000	0	
預り金	109,477	193,945	198,096	389,636	433,021
仮受金	2,149,872	5,110,000	100,000	0	36,000
事業未実施助成金等			2,897,521	4,856,733	0
流動負債計	2,474,849	5,945,945	3,412,714	7,437,723	587,021
寄付預り金	3,000,000	1,050,000			
ボーゲウ前受金	639,000	492,000	240,000	324,000	336,000
クーキャオ中前受金	1,680,000	1,416,000	924,000	768,000	646,800
クーキャオ高前受金	989,000	1,080,000	684,000	522,000	288,000
スリランカ前受金	224,000	208,000	128,000	82,000	48,000
基金	7,901,460	7,323,658	7,330,346	7,796,262	7,796,262
固定負債計	14,433,460	11,569,658	9,306,346	9,492,262	9,115,062
負債合計	16,908,309	17,515,603	12,719,060	16,929,985	9,702,083
正味財産	635,101	4,413,781	4,993,306	3,511,783	4,087,349
(当期損益)	2,725,693	3,778,680	579,525	-1,481,523	876,971
負債・正味財産合計	17,543,410	21,929,384	17,712,366	20,441,768	13,789,432

特定非営利活動法人地球市民の会
21年度収支決算書
 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

単位:円

【経常収入の部】	20年度決算	21年度予算	21年度決算	【経常支出の部】	20年度決算	21年度予算	21年度決算
会費収入	3,763,500	5,500,000	4,860,800				
国内関連収入	7,265,876	15,200,000	11,321,542	国内事業費	2,753,840	8,650,000	4,653,871
国内事業収入	4,003,455	5,000,000	1,100,919	国内事業費	2,657,822	3,000,000	4,653,871
講師派遣事業	323,400	300,000	406,676	25周年記念事業	96,018		
海外事業報告会				奨学金関係事業		1,150,000	
小さな地球計画2009		5,000,000		小さな地球計画2009		4,500,000	
アジアガーデン							
25周年記念事業	280,194						
補助金・助成金等収入	167,280	200,000	6,044,958				
寄附金収入	805,084	3,000,000	326,420				
委託金収入			3,189,000				
奨学金関係事業収入	1,657,912	1,700,000					
雑収入	28,551	0	253,569				
奨学金関連収入	4,619,500	6,100,000	4,696,151	奨学金事業費	4,619,500	5,650,000	2,415,218
奨学金会費収入	4,619,500	4,600,000	4,669,800	奨学金交付	2,100,565	2,760,000	2,121,228
さとおやツアー		1,500,000		奨学金事務手数	1,154,875	1,150,000	
寄付金収入			26,351	奨学金調査費	1,364,060	690,000	293,990
雑収入				さとおやツアー		1,050,000	
ミャンマー関連収入	41,706,887	36,232,324	24,306,665	ミャンマー事業費	33,986,571	30,210,000	18,321,997
自主事業収入	1,517,500	2,000,000	896,040	自主事業支出	966,541	1,400,000	1,297,999
スタディツアー	1,517,500	2,000,000	896,040	スタディツアー	966,541	1,400,000	1,297,999
国内事業							
寄附金収入	7,858,263	5,070,000	3,074,545	寄付金支出	7,518,995	3,810,000	4,290,911
タンボジ研修センター	2,000,000	2,000,000		タンボジ研修センター	1,516,795	1,600,000	1,718,325
ナウンカ研修センター				ナウンカ研修センター	332,760		137,220
循環型農業研修				循環型農業研修			
農業支援事業費	309,000	500,000	137,126	農業支援事業費	721,349	350,000	
チャウタロン	570,000	570,000	708,000	チャウタロン	540,014	510,000	540,000
教育支援(学校建設)	1,176,172	1,500,000	2,172,000	教育支援(学校建設)	1,602,552	1,350,000	1,895,366
その他の寄附金	417,000	500,000	57,419	その他の寄附金事業費			
緊急支援収入	3,386,091			緊急支援支出	2,805,525		
助成金収入	24,405,328	15,800,000	19,507,080	助成金支出	17,138,711	18,000,000	15,954,359
森林復元事業費			0	森林復元事業費	489,670		
外務省NGO連携無償	12,986,228		-133,620	外務省NGO連携無償	8,773,609		
緑の募金	821,000	800,000	799,000	緑の募金	1,013,392	500,000	1,827,285
三井物産環境基	9,098,100	5,000,000	8,532,700	三井物産環境基	5,521,075	4,500,000	5,160,083
イオン環境財団	1,500,000		0	イオン環境基金	1,022,114		810,542
郵政ボラ貯収入		10,000,000	10,309,000	郵政ボラ貯事業	318,851	9,000,000	8,170,491
JICA委託事業			0	JICA委託事業			
その他の事業費		5,000,000	829,000	その他の事業費		4,000,000	-14,042
雑収入			0				
ミャンマー資金戻入益	5,028,275	4,856,733	0	ミャンマー事業費繰入損	4,856,733	4,000,000	-4,856,733
ミャンマー事業費戻入益	2,897,521	3,505,591	0	ミャンマー資金繰入損	3,505,591	3,000,000	1,635,461
韓国関連事業収入	715,547	0	0	韓国事業費	569,018	0	0
自主事業収入	423,547						
助成金収入	292,000						
				国内管理費	12,111,394	12,500,000	10,363,420
				人件費	8,250,636	8,500,000	8,066,383
				その他管理費	3,860,758	4,000,000	2,297,037
				奨学金事業管理費			2,243,449
				人件費			
				その他管理費			
				ミャンマ管理費	5,512,510	6,000,000	6,611,637
				人件費	3,653,104	4,000,000	4,762,128
				その他管理費	1,859,406	2,000,000	1,849,509
経常収入合計	58,071,310	63,032,324	45,185,158	経常支出合計	59,552,833	63,010,000	44,609,592
				当期収支差額	-1,481,523	22,324	575,566
				繰越収支差額	4,993,306	3,511,783	3,511,783
				次期繰越収支差額	3,511,783	3,534,107	4,087,349

5 期 連 続 収 支 比 較 表

事業	項目	H17/4~H18/3	H18/4~H19/3	H19/4~H20/3	H20/4~H21/3	H21/4~H22/4
		17(2005)年度 第4期	18(2006)年度 第5期	19(2007)年度 第6期	20(2008)年度 第7期	21(2009)年度 第8期
国内事業	会費収入	6,241,500	5,046,000	5,299,000	3,763,500	4,860,800
	奨学金関係事業	2,945,200	4,700,851	2,841,381	1,657,912	
	国内事業	1,788,048	2,686,587	1,289,155	4,607,049	1,507,595
	海外派遣事業		1,086,000	210,000		
	補助・助成金収入	212,093	500,000	728,586	167,280	6,044,958
	委託金収入					3,189,000
	寄付金収入	4,275,184	1,182,232	714,497	805,084	326,420
	雑収入	148,814	211,168	25,746	28,551	253,569
	【収入計】	15,610,839	15,412,838	11,108,365	11,029,376	16,182,342
	人件費	5,691,937	5,431,445	8,277,191	8,250,636	8,066,383
	その他管理費	4,595,906	4,991,457	6,125,906	3,860,758	2,297,037
	奨学金関係事業		2,473,917	554,497		
	国内事業		2,009,397	476,766	2,753,840	4,653,871
	海外派遣事業	1,196,794	1,220,320			
	【支出計】	11,484,637	16,126,536	15,434,360	14,865,234	15,017,291
【収支差額】	4,126,202	-713,698	-4,325,995	-3,835,858	1,165,051	
奨学金事業	奨学金事業	4,917,500	5,181,000	5,451,000	4,619,500	4,669,800
	寄付金収入	84,500	0	2,240		26,351
	【収入計】	5,002,000	5,181,000	5,453,240	4,619,500	4,696,151
	奨学金交付	2,980,710	3,137,790	3,507,416	2,100,565	2,121,228
	TPA事務局経費	1,240,250	1,295,250	1,362,750	1,160,871	2,243,449
	現地調整費・事務費	696,540	747,960	565,074	1,358,064	293,990
	【支出計】	4,917,500	5,181,000	5,435,240	4,619,500	4,658,667
【収支差額】	84,500	0	18,000	0	37,484	
海外事業	自主事業収入				1,517,500	896,040
	JICA委託事業	20,386,000	12,408,768	4,163,801	0	0
	外務省他				12,986,228	-133,620
	森林復元事業		5,077,000	4,500,000		799,000
	農業支援				309,000	137,126
	補助・助成金収入	180,000	0	23,601,002	11,419,100	19,670,700
	寄付金収入	540,198	5,618,135	7,846,821	7,549,263	2,937,419
	雑収入			3,921		
	ミャンマー事業資金戻入益			3,505,591	5,028,275	
	ミャンマー事業費戻入益			590,173	2,897,521	
	【収入計】	21,106,198	23,103,903	44,211,309	41,706,887	24,306,665
	自主事業支出				966,541	1,297,999
	JICA委託事業	14,802,289	3,540,000	3,554,048	0	0
	その他事業費	1,391,057	6,629,831	2,344,687	7,556,581	2,435,366
	農業支援		654,872	0	721,349	
	森林復元事業費	1,000,000	2,578,822	2,593,728	489,670	1,827,285
	外務省委託事業			16,452,488	8,773,609	0
	郵政ボラ貯事業			2,293,650	318,851	8,170,491
	寄付金事業費			1,683,603	5,280,851	5,956,583
	海外教育推進			1,294,863	1,516,795	1,855,545
人件費	5,290,536	5,208,000	5,008,410	3,653,104	4,762,128	
その他の管理費			566,400	1,859,406	1,849,509	
ミャンマー事業費繰入損			2,897,521	4,856,733	-4,856,733	
ミャンマー事業資金繰入損			634,421	3,505,591	1,635,461	
【支出計】	22,483,882	18,611,525	39,323,819	39,499,081	24,933,634	
【収支差額】	-1,377,684	4,492,378	4,887,490	2,207,806	-626,969	
② 海外事業	自主事業収入				423,547	0
	助成金収入				292,000	0
	【収入計】	0	0	0	715,547	0
	事業支出				569,018	0
【支出計】	0	0	0	569,018	0	
【収支差額】	0	0	0	146,529	0	
② 海外その他	外務省等委託事業	0	0	0	0	0
	【収入計】	0	0	0	0	0
	外務省等委託事業費	0	0	0	0	0
	その他事業費	107,325	0	0	0	0
	【支出計】	107,325	0	0	0	0
【収支差額】	-107,325	0	0	0	0	
經常収入合計		41,719,037	43,697,741	60,772,914	58,071,310	45,185,158
經常支出合計		38,993,344	39,919,061	60,193,419	59,552,833	44,609,592
經常収支差額		2,725,693	3,778,680	579,495	-1,481,523	575,566
基金取崩益(地球市民)		0	0	0	0	0
繰越収支差額		-2,090,592	635,101	4,413,781	4,993,306	3,511,783
次期繰越収支差額		635,101	4,413,781	4,993,306	3,511,783	4,087,349

財産目録

2010年3月31日

【資産の部】

普通預金	6,172,199
佐賀銀行本店営業部 2675887	43,493
佐賀銀行本店営業部 1506171	4,799,712
佐賀銀行外貨預金 本店営業部 771113	86,573
佐賀銀行本店営業部 チャウスー 2810940	68
佐賀信用金庫本店営業部 1059408	1,240,716
佐賀共栄銀行 248629	1,637
郵便貯金	2,582,736
郵便振替	1,331,994
未収金	150,822
印刷機使用料負担金 夢の学校を作る会	79,084
印刷機使用料負担金 古賀英語道場	24,698
133号ネットワークテラ 古賀道場負担分計上(回収済み)	19,320
133号ネットワークテラ 夢の学校を作る会負担分計上(回収済み)	27,720
ミャンマー事業未使用資金	3,392,814
本部送金分 ドル未使用分	4,439,783
本部送金分 チャット未使用分	-1,046,969

【負債の部】

未払金	118,000
3月分家賃 (有)古賀英語道場	70,000
3月分駐車場代 (有)古賀英語道場	8,000
3月分水道光熱費 (有)古賀英語道場	25,000
3月分消耗品代 (有)古賀英語道場	5,000
3月分コピー代 (有)古賀英語道場	10,000
預り金	433,021
源泉所得税	41,690
社会保険等	105,216
理事慶弔費	275,815
市県民税	10,300
仮受金	36,000
ボランティアわだ	36,000
ボーゲウ前受金	336,000
2010年度分	228,000
2011年度分	108,000
クーキャオ 中学前受金	646,800
2010年度分	431,400
2011年度分	191,400
2012年度分	24,000
クーキャオ 高校前受金	288,000
2010年度分	198,000
2011年度分	72,000
2012年度分	18,000
スリランカ ショダヤ 奨学金前受金	48,000
2010年度分	32,000
2011年度分	16,000
基金	7,796,262
地球市民基金	873,342
地球市民特別基金	4,994,547
地球市民奨学金基金	1,358,064
森太郎プロジェクト国内基金	46,416
ミャンマー教育基金	195,828
ミャンマー竜巻緊急支援	328,065

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット:タウンジー)貸借対照表
 平成21年3月31日現在

単位:チャット

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現金	8,097,123	1,222,616	預り金	-31,750	1,409,350
普通預金	15,581,772	11,519,543	小規模銀行基金	360,000	360,000
現金預金合計	23,678,895	12,742,159	流動負債合計	328,250	1,769,350
立替金	651,700		固定負債合計	0	0
短期貸付金	474,400	6,853	負債合計	328,250	1,769,350
仮払金	960,000	1,185,000	正味財産	40,902,245	34,920,162
流動資産合計	25,764,995	13,934,012			
保証金	430,500	430,500			
長期貸付金	15,035,000	22,325,000			
固定資産合計	15,465,500	22,755,500			
資産合計	41,230,495	36,689,512	負債・正味財産	41,230,495	36,689,512

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(チャット)収支計算書
 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

単位:チャット

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本部勘定収入	94,978,720	事業費	85,544,064
タンボジ	17,760,380	タンボジ	15,408,008
ナウンカ	6,239,140	研修所運営費	8,998,151
NGO連携無償	963,000	研修所維持費	258,550
養豚銀行	1,712,960	農場運営費	6,151,307
チャウタロン	4,716,800	ナウンカ	6,816,300
ボランティア貯	4,684,200	研修所運営費	3,274,200
教育支援事業	1,155,000	農場運営費	3,542,100
その他の事業	33,098,650	NGO連携無償	1,034,775
緑の募金	8,725,000	養豚銀行	50,000
三井物産環境基	5,398,640	ナウンシン	553,950
イオン環境基金	3,197,000	チャウタロン	5,040,000
管理費	7,327,950	ボランティア貯	16,670,406
物販収入	230,000	教育支援事業	-36,000
10日間研修	230,000	ピンダヤ研修	111,700
参加費収入	529,000	その他	111,700
10日間研修	524,000	緑の募金	2,088,100
循環型農業研修	5,000	薪炭林	2,088,100
寄付金収入	900	三井物産環境基	4,063,875
寄付金収入	900	インレー湖保全	4,063,875
雑収入	635,771	その他の事業	33,185,450
受取利息	623,271	イオン環境基金	557,500
雑収入	12,500	管理費	16,812,410
		給料手当	9,921,700
		その他の管理費	6,890,710
経常収入合計	96,374,391	経常支出合計	102,356,474
		当期収支差額	-5,982,083
		繰越収支差額	35,614,891
		次期繰越収支差額	29,632,808

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)貸借対照表
 平成22年3月31日現在

単位:USドル

科目名	前期末残高	当期末残高	科目名	前期末残高	当期末残高
現金	87,512	137,174	未払費用	1,249	
現金預金合計	87,512	137,174	前受金	16,134	
			仮受金	119,791	
			流動負債合計	137,174	
			固定負債合計	0	
流動資産合計	87,512	137,174	負債合計	137,174	
固定資産合計	0		正味財産	0	
資産合計	87,512	137,174	負債・正味財産	137,174	

特定非営利活動法人地球市民の会
ミャンマー(ドル)収支計算書
 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

単位:USドル

【経常収入の部】		【経常支出の部】	
科目名	残高	科目名	残高
本部勘定収入	91,278	事業費	71,613
NGO連携無償	9,851	NGO連携無償	9,851
その他の事業	61,570	ボランティア貯	61,570
スタディーツアー	192	スタディーツアー	192
管理費	19,665	管理費	19,665
		給料手当	12,730
		旅費交通費	672
		通信運搬費	2,588
		賃借料	3,600
		雑費	75
経常収入合計	91,278	経常支出合計	91,278
		経常収支差額	0
		繰越収支差額	0
		次期繰越収支差額	0

ミャンマー事務所USDル
財産目録
 2010年 3月31日現在

単位:USDル

科目	金額
【資産の部】	
流動資産	
現金 預金	137,174
現金 現金手許有高	137,174
流動資産合計	137,174
資産合計	137,174
【負債の部】	
流動負債	
未払費用	1,249
前受金	16,134
事業手数料M	7,379
事業手数料本部	1,300
ツアー手数料	3,269
寄付金収入	3,935
その他の資金	251
仮受金	119,791
タンボジ	10,998
ナウンカ	109
NGO連携無償	3,106
養豚銀行	-1,280
ニンニク銀行	1,336
森林復元	5,372
チャウタロン	4,353
ボランティア貯金	15,718
御厨基金	456
教育支援事業	12,868
まごころ基金	150
坂井邦夫基金	-1,206
タンボジ養豚	55
その他の事業	5,857
スタディーツア	3,248
緑の募金	8,569
三井物産環境基金	17,392
イオン環境財団	4,943
管理費	27,747
流動負債合計	137,174
負債合計	137,174
正味財産	0

ミャンマー事務所ミャンマーチャット
財産目録
 2010年 3月31日現在

単位:チャット

科目	金額
【資産の部】	
流動資産	
現金 預金	12742159
現金 現金手許有高	1222616
普通預金	11519543
一般	3241551
特別	8277992
短期貸付金	6853
ナウンシン農業支援貸付	6853
仮払金	1185000
タンボジ研修センター	740000
ナウンカ研修センター	400000
その他の事業	45000
流動資産合計	13934012
固定資産	
基本財産	
その他の固定資産	
保証金	430500
長期貸付金	22325000
養豚銀行	5325000
水牛銀行	12300000
ニンニク銀行	2400000
ナウンシン入植貸付金	200000
その他の固定資産合計	22755500
固定資産合計	22755500
資産合計	36689512
【負債の部】	
流動負債	
預り金	1409350
小規模銀行基金	360000
流動負債合計	1769350
固定負債	
負債合計	1769350
正味財産	34,920,162


決算に関する会計報告書

平成22年5月10日、特定非営利活動法人地球市民の会事務局において、定款第47条の規定により監査の結果、平成21年度（自平成21年4月1日～至平成22年3月31日）の会計ならびに決算報告書は適性であることを認めます。

平成22年5月10日

特定非営利活動法人地球市民の会

監事 宮地 敏 昭 

田中 進 

感動共感 1 万人プロジェクト」

で活動を多くの人に伝えよう

(平成 22 年 5 月 16 日)

最重点活動

- 1、会員の「感動満足度」を高めよう
- 2、会員以外の地域の人々に
感動体験・感動情報を提供しよう
- 3、経営の「カイゼン」に挑戦しよう

重点活動

- 1、 ミャンマー事業のフェーズ 3 と
タイ事業の事業形態改善
- 2、 中山間地の元気再生事業のパイロット事業開始と
TPA 版「農」事業の立案
- 3、 チャリティショップの開店と
チャリティネットショッピングモールの運用開始

◆ 「感動共感1万人プロジェクト」

地球市民の会は「助け合い、共に学ぶ国際協力」を実施し、それを国内で丁寧に報告する事で、会員さんは私たちの事業を認め、支援していただけるものとして活動を進めてまいりました。その過程において、活動が専門的になってしまった点や、現場が海外にあるための距離の遠さが生む身近さの欠如などにより、地球市民の会の本来の魅力である「感動を提供する組織」としての長所を薄めてしまい、会員さんに会との距離を感じさせてしまったのではないかという反省をいたしました。そこで、今期は理事会一丸となって、「会員さんの感動満足度を高めよう」という掛け声のもと、「感動共感1万人プロジェクト」を実施いたします。会員さんやそれ以外の方々にも今まで以上に「感動体験」「感動情報」を提供し、地球市民の会に対する親近感を高めていこうという事業です。1年間かけて感動を共感頂いた方1万人に地球市民の会から「感動カード」をお送りし、「地球市民の証明」をさせていただきます。詳細は固まり次第ご連絡いたしますのでお付き合いをお願いいたします。

◆ 国際協力事業の新展開を検討しています。

国際協力の現場では政府の国際協力のための予算（ODA 予算）の削減が実施されています。そのようなODA のマイナス予算の中でとくに民主党政権は NGO（国際協力市民団体）に対する予算配分比率を上げる方向で動いています。これは、地球市民の会にとってはプラスの状況です。そこで、地球市民の会のミャンマーにおける循環型農業を基盤にした循環型共生社会の創造が高い評価を受けていますので、本年度以降ミャンマー以外の国での実施を検討したいと考えています。ミャンマーの隣国のラオス、GNH（国民総幸福）の国ブータンなどが候補になっています。また、スリランカの小規模発電事業も再開し、バイオマス発電による紛争後の地域の平和構築事業も検討いたします。

◆ 国内の地域開発事業の本格化も待ったなしです。

佐賀市との協働委託事業で継続中の「中山間地の元気再生プロジェクト」はいよいよパイロット事業の立ち上げに向かって計画立案の段階に入っていきます。2地区での検討に入っています。また、「テラアピール2009」で宣言した「農」にかかる事業の研究立案を進めていきます。海外事業と国内事業の融合のための基礎づくりとなっていく予定です。

◆ 国際交流事業は地域の活性化事業として取り組みます。

アジアユースオーケストラのアジア10カ国108人の学生のホームステイ受け入れ・交流事業、新カチガラス計画での韓国の大学生の日本の中山間地ホームステイ事業などを実施します。

◆ 経営の「カイゼン」に挑戦です

タイの教育改善を目的にしたチャリティショップ、ミャンマーの学校建設を目的にしたインターネット上のショッピングモールなど「ソーシャル・ビジネス」の実施により資金調達能力を向上させます。また、従来事業の見直しによる資金投下の配分見直し、事務効率の向上などのカイゼンに取り組みます。

◆ 国民幸福度の研究

北欧やブータンといった国民幸福度を研究し、地域社会への提言を通し貢献していきます。

◆ イベントも目白押しです

行政と市民の協働を伝統芸能「佐賀にわか」で伝える事業やミャンマー写真展などで皆さんの町に参ります。

平成22年度事業計画書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

特定非営利活動法人 地球市民の会

事業内容	実施時期	実施内容
国内事業		
中山間地元気再生事業	通期	過疎中山間地域の村落開発事業(佐賀市委託事業)
地域間交流事業	通期	中山間地と都市部の交流事業(セブンイレブン助成申請事業含む)
自分自給率向上事業	通期	都市部の市民の農業と食に対する関心を高める事業
農事業	通期	
行政協働事業	通期	佐賀市:おもしろ大百科(継続) 県:焔博基金 その他
講師派遣事業	通期	学校・各種団体への講師派遣
奨学金関連事業		
奨学会費	通期	タイ・スリランカの中学・高校生への奨学金事業
チャリティショップ	通期	タイ貧困農村支援を目的としたセカンドハンドショップ運営
さとおやツアー	3月	奨学金受給者への視察
ミャンマー事業		
スタディツアー	年3回	ミャンマー事業への視察事業
チャリモ事業	通期	ミャンマー学校建設を目的とした
タンボジ研修センター運営	通期	貧困農村部の高校生寄宿事業、循環型農業普及事業の拠点運営
ナウンカ研修センター運営	通期	循環型農業普及事業の拠点運営
循環型農業研修開催	通期	循環型農業普及セミナー実施
農業支援事業費	通期	小規模農業支援事業
チャウタロン奨学金事業	通期	高校生への奨学金事業
学校建設事業	随時	学校校舎建設 (坂井プロジェクト)
道路建設事業	9~12月	マジーピン-パハリン間道路建設事業(外務省NGO連携無償)
生活用薪炭林植林事業	4月~	ティハムスエ村の僧院所有地に薪炭用の植林実施(みどりの募金)
インレー湖環境改善事業	~9月	富栄養化した湖の異常繁茂する水草の有効利用(三井物産)
貧困農村部の協同組合建設事業	通期	JICA 草の根パートナー 申請中
韓国関連事業収入		
新カチガラス事業	8月	韓国人大学生と日本人大学生の交流事業

平成 22 年 度 収 支 予 算 書

自 平成22年4月1日 至平成23年3月31日

単位:円

【経常収入の部】	21年度決算	22年度予算	【経常支出の部】	21年度決算	22年度予算
会 費 収 入	4,860,800	5,500,000			
国内関連収入	11,321,542	10,000,000	国内事業費	4,653,871	5,800,000
国内事業収入	1,100,919		国内事業支出	4,653,871	
講師派遣事業	406,676	500,000	講師派遣事業支出		1,000,000
補助金・助成金等収入	6,044,958	1,000,000	補助金・助成金等支出		800,000
委託金収入	3,189,000	6,500,000	委託金収入		4,000,000
寄附金収入	326,420	2,000,000			
雑収入	253,569	0			
奨学金関連収入	4,696,151	6,100,000	奨学金事業費	2,415,218	4,272,000
奨学金会費収入	4,669,800	4,300,000	奨学金交付	2,121,228	2,622,000
さとおやツアー		1,000,000	さとおやツアー		900,000
チャリティショップ		500,000	チャリティショップ		350,000
寄付金収入	26,351	300,000	奨学金調査費	293,990	400,000
ミャンマー関連収入	24,306,665	31,600,000	ミャンマー事業費	18,321,997	23,315,000
自主事業収入	896,040	5,000,000	自主事業支出	1,297,999	3,100,000
スタディツアー	896,040	3,000,000	スタディツアー	1,297,999	1,600,000
チャリモ事業		2,000,000	チャリモ事業		1,500,000
寄附金収入	3,074,545	5,600,000	寄付金支出	4,290,911	4,655,000
タンポジ研修センター		2,000,000	タンポジ研修センター	1,718,325	1,800,000
ナウンカ研修センター		1,000,000	ナウンカ研修センター	137,220	900,000
循環型農業研修		100,000	循環型農業研修		50,000
農業支援事業費	137,126	200,000	農業支援事業費		180,000
チャウタロン	708,000	500,000	チャウタロン	540,000	450,000
教育支援(学校建設)	2,172,000	1,500,000	教育支援(学校建設)	1,895,366	1,275,000
その他の寄附金	57,419	300,000	その他の寄附金事業費		0
助成金収入	19,507,080	21,000,000	助成金支出	15,954,359	15,560,000
地球環境基金	0	5,200,000	地球環境基金事業		4,500,000
外務省NGO連携無償	-133,620	10,000,000	外務省NGO連携無償		7,000,000
緑の募金	799,000	800,000	緑の募金	1,827,285	560,000
三井物産環境基	8,532,700	0	三井物産環境基	5,160,083	0
イオン環境財団	0	0	イオン環境基金	810,542	0
郵政ボラ貯収入	10,309,000	0	郵政ボラ貯事業	8,170,491	0
JICA委託事業	0	5,000,000	JICA委託事業		3,500,000
その他の事業費	829,000	0	その他の事業費	-14,042	0
雑収入	0	0			
ミ資金戻入益	0	0	ミ事業費繰入損	-4,856,733	0
ミ事業費戻入益	0	0	ミ資金繰入損	1,635,461	0
韓国関連事業収入	0	1,000,000	韓国事業費	0	850,000
自主事業収入			新カチガラス計画		850,000
助成金収入		1,000,000			
			国内管理費	10,363,420	10,700,000
			人件費	8,066,383	8,200,000
			その他管理費	2,297,037	2,500,000
			奨学金事業管理費	2,243,449	2,500,000
			人件費		
			その他管理費		
			ミャンマ管理費	6,310,232	6,600,000
			人件費	4,762,128	5,000,000
			その他管理費	1,548,104	1,600,000
経常収入合計	45,185,158	54,200,000	経常支出合計	44,308,187	54,037,000
			当期収支差額	876,971	163,000
			繰越収支差額	3,511,783	4,388,754
			次期繰越収支差額	4,388,754	4,551,754

特定非営利活動法人 地球市民の会 3カ年計画(中期経営計画)

2010年4月策定

- 地球市民の会の目的 地球市民運動を通じて、世界の平和と親善に貢献し、あわせて地域社会の向上発展に寄与すること(定款第2条)
- 地球市民運動とは 人・社会・自然の相互依存を十分に認識し、全てのいのちを慈しみ、強く・優しく・豊かに・美しく育てる
- 地球市民の会とは 地球市民運動(足もとを見直すことで平和で幸せな社会を作ろうとする運動)を通して地球維新(設立趣意書より)を実現する団体
- 地球市民の会の活動指針
- ① 地球市民運動を通し、経済的豊かさよりも心の豊かさを伝えることで、平和で幸福な社会へ変革させていく。
 - ② 感動と気付き(目覚め)にて全人的成長(設立趣意書)をし、社会を変える人をつくる(育てる)
 - ③ 社会を変革する組織として存在し続ける責務を持ち、安定的自立経営を目指す。

プロジェクト名	3カ年の結果目標	3カ年の成果
ミャンマー事業	循環型農業がターゲットエリアで30%実施する お茶プロジェクト開始 インレー湖循環化事業の日本からの支援終了 タンポジセンターのハンドオーバーが実現する ナウンカセンターのハンドオーバーが実現する ナウンシンデモファームの自立の見込みが立つ 外務省N連事業提案 学校5校建設・ナーリー村支援開始 スタディーツアー実施 JA事業新規給水P実施	持続型自立発展事業が軌道に乗り、協力事業から交流事業へと発展する。
タイ事業	・自立発展型教育支援事業が新規プロジェクト立案ができるようになる ・奨学金の新規受給者が2015年にゼロとなる ・教育基金に対する理解が深まる ・自前のチャリティショップが運営できる準備が整う ・ボランティアが恒常的に参加できる事業が続いている。	タイ国内の経済的格差に対する循環型共生社会による自立発展型事業での自立の道筋を日本国内での活動とリンクして広く伝える。
スリランカ事業	フェーズ1に成果の予兆が見え、フェーズ2の立案準備が始まる	貧困地域が自然エネルギーによる発電事業を通して循環型共生社会へと変化していく。
ラオス事業	ラオス循環型共生社会創造事業が始まった。	循環型共生社会の創造による開発のモデルとなり、国内の農事業や地球共感教育事業と運動し国内で学び時を得ることができる
ブータン事業	ブータン事業が申請されている	
村プロジェクト	当事業で雇用が確保できるようになっている。 韓国との事業が成り立つようになる	循環型共生社会の創造の国内モデルが地域の人々の間で出来上がりつつある。 TPA事業に直接的・間接的に関わった人に地球市民としての意識をもつ人が増加する
自分自給率向上事業	自分自給率が一般名詞化し運動となる兆しがある。	都市型の循環型共生社会のモデルの提示ができる。
農事業	・循環型農業研修センター、エコツーリズム事業が継続実施されている	農の視点から循環型共生社会を伝え、広めていくことができるようになる。
地球共感教育事業	セミナー、シンポジウム、講師派遣、プログラム受注で一人雇用できる状態になる	地球共感教育を体験した人が増える
企業・行政 協働事業	委託、共同事業等で一人雇用できる状態になる	当会の内的資源を用いて循環型共生社会と行政課題や企業のCSRを一致させた事業が成立する。
地域開発・地域づくりセンター事業	センターで事業が実施できる状態となっている。	道州制を基本とした地域づくりのなかで九州の社会変革の核となり、国内で重要な影響を及ぼす組織となる。
資金調達 ファンドレイジング	国内スタッフ8名、海外スタッフ6名の体制が維持できるようになる。	2013年の予算を1億円とし、収入比率を会費・寄付:助成委託:自主事業=3:4:3、国外国内比率を60:40にする。
ミャンマー・チャリモ事業	25社で1000万円の寄付が見込める事業へ拡大できる状態となっている	チャリティとしてや、目的・意義を意識しながら継続的な購入をする消費者が増える
会員サービス事業	毎月、何等かの会員の集まれる場所を提供する	当会の会員であることに喜びを感じてもらえるようになる。
広報出版事業	毎月、何等かの会員に対する情報のリリースが実施される。	当会の「今」の内容がいつでも誰でも解るようになっている。

特定非営利活動法人地球市民の会 平成22年度役員

50音順

役職	氏名	勤務先／所属	役職名
永久名誉会長	古賀 武夫		
名誉会長	古川 康	佐賀県	知事
名誉副会長	秀島 敏行	佐賀市	市長
顧問	伊藤 榮彦	京都科学カフェ	代表
顧問	井戸 敏三	兵庫県	知事
顧問	稲田 繁生	伊万里学園・敬徳高校	理事長
顧問	今村 雅弘	衆議院	議員
顧問	井本 勇	佐賀清和学園	理事長
顧問	江口 隆通	佐賀県くらし環境本部・国際課	課長
顧問	大草 秀幸	アバンセ	館長
顧問	大串 博志	衆議院	議員
顧問	川崎 稔	参議院	議員
顧問	小原 健史	(株)和多屋別荘	代表取締役
顧問	小原 嘉文	嬉野温泉観光(株)	代表取締役社長
顧問	小山 高生	脚本家/大阪芸術大学	教授
顧問	坂井 学	衆議院	議員
顧問	薩摩 和男	(株)美々卯	社長
顧問	三遊亭歌之介	落語家	
顧問	上甲 晃	志ネットワーク	代表
顧問	喜多 浩人	佐賀市国際交流室	室長
顧問	豊田 泰光	野球評論家	
顧問	中尾 清一郎	(株)佐賀新聞社	代表取締役社長
顧問	佛淵 孝夫	佐賀大学	学長
顧問	原口 一博	衆議院	議員
顧問	平湯 慎介	平湯コーポレーション	代表取締役
顧問	福岡 資麿	衆議院	議員
顧問	古川 弘典	三重県・御浜町	町長
顧問	保利 耕輔	衆議院	議員
顧問	マリ クリスティーナ	異文化コミュニケーター	
評議員	有岡 大介	(株)サガテレビ	主任
評議員	弥富 雅信	鶴田病院	理学療法士
評議員	橋村 エリザベス		
評議員	大島 隆	和食処おおしま	代表取締役
評議員	副島 正幸	潮音寺	住職
評議員	田島 広一	田島興産(株)	代表取締役社長
評議員	富吉 賢太郎	佐賀新聞社	論説委員長
評議員	原 康彦	鳥栖市議会	議員
評議員	深川 千幹	神崎市立西郷小学校	教頭
評議員	前田 英彦	長崎県松浦市役所 水産商工観光課	課長
評議員	前田 昌子	NPO法人 地球どうの会	理事長
評議員	丸田 祐子		
評議員	満岡 聰	満岡内科消化器科医院	院長
評議員	峰 悦男	峰公認会計士事務所	代表
評議員	宮地 大治	(株)佐賀電算センター	取締役社長
評議員	百生 詩緒子	(独法)国際協力機構 パナマ	ディレクター

特定非営利活動法人地球市民の会 平成22年度役員

会長	佐藤 昭二	(株)地水社	代表取締役
副会長	藤 雅仁		
副会長	多良 淳二	(財)佐賀銀行文化財団	事務局長
副会長	山口 久臣	(有)野外教育研究所アイ・オー・イー	取締役 所長
副会長	草場 一壽	今心工房	陶彩画家

理事 50音順

理事長	山下 雄司	(株)サガプリンティング	専務取締役
副理事長	平野 喜幸	れんげ国際ボランティア会	れんげ農苑長
専務理事【有給】	大野 博之	特定非営利活動法人地球市民の会	事務局長
理事	稲富 正人	佐賀県くらし環境本部男女参画・県民協働課	課長
理事	植田 寛		
理事	小松 敏正	小松商店 金属部	専務
理事(兼任)	佐藤 昭二	(株)地水社	代表取締役
理事(兼任)	多良 淳二	(財)佐賀銀行文化財団	事務局長
理事	土井 敏弘	みどりや茶舗	代表
理事	成尾 雅貴	熊本県庁 くまもとブランド推進課	
理事	西村 一守		
理事	西村 尚子	西村歯科医院	
理事(兼任)	藤 雅仁		
理事	増田 誠司	(株)増屋	代表取締役
理事	八田 康博	(有)八田工作所	代表取締役

監事	田中 進	(株)佐賀電算センター	代表取締役会長
監事	宮地 敏昭	(株)ぶらざ	代表取締役社長

会長・副会長の役割 地球市民の会の理念や活動について対外的に伝える代表です。

理事の役割 理事は会の経営に携わり、意思決定とその責任を有します。
理事長は、経営権を持ち、活動に対する指揮権と責任を有します。
副理事長は理事長を補佐します。
専務理事は理事会の決定実施するために事務局を統括します。

監査の役割 活動内容が理念や社会的規範から離れていないかなどの問題がないかを、また、財務会計状況に問題がないかを監査します。

会員総会の役割 会の最高意思決定機関です。理念や目的を達成するための各種事業に対して是非の判断
総会及び会長、副会長に対して専門的な立場から指導又は助言等を行いません。
理事会の経営や事業実施に対して専門的な立場から指導又は助言等を行います。

地球市民の会 26年の歴史



- 1973年 「佐賀フランス研究会」設立(地球市民の会の前身)
- 1980年 「古賀英語道場・佐賀日仏文化会館」設立
- 1983年 「地球市民の会」設立
- 1986年 第1回小さな地球計画開始
- 1987年 日タイ協力事業開始
- 1988年 日韓交流プログラム「かちがらす計画」開始
- 1990年 地球市民奨学金 開始
- 1992年 人間の持つべき文明「テラアピール」発表
- 1993年 地球共感シンポジウム、アジア太平洋協力会議 実施
- 1995年 地球市民運動全国会議実施、スリランカ協力事業開始
- 2002年 NPO 法人格取得
- 2003年 ミャンマープロジェクト
- 2008年 創始者 古賀武夫 逝去
- 2009年 人間の持つべき文明 2009「テラアピール 2009」提唱



地球市民の会 主な褒章

- 1988年 サントリー地域文化賞
- 1989年 国際交流基金地域交流振興賞
- 1994年 佐賀県県政功労者知事賞
- 1996年 自治大臣表彰
- 1996年 厚生大臣感謝状
- 2000年 外務大臣表彰
- 2003年 にしぎんアジア貢献賞
- 2006年 地球倫理推進賞
- 2006年 文部科学大臣奨励賞



地球市民の会組織図 2010年度

